

公式記録員 ルール問題（初級編）

H22(2010)年版

NO.	スコアリングマニュアル/ルールブック等	項目	問 題	解答
1	R12 1 3	公式記録員	安打による出塁か、失策による出塁かの権限は記録員にある。	
2	R12 1 3	公式記録員	勝利投手の決定は、記録員の権限である。	
3	R12 1 3	公式記録員	記録員は審判員の判定と異なった決定をしてはいけない。	
4	R12 1 (注1)	公式記録員	各試合の記録員は、記録判定に含まれる全決定を下す唯一の権限を持つと明記されているので、記録委員長からの指導があっても決定を変える必要はない。	
5	R12 1 (注2)	公式記録員	ボールカウント、アウトカウントの間違ひは、迅速に審判員（副審）に連絡する。	
6	R12 1 (注2)	公式記録員	打者が四球になっても出塁しないし、審判員が指示しない時は助言できる。	
7	R12 1 (注2)	公式記録員	三死になっても、攻守交代が行なわれないので、審判員に知らせた。	
8	R12 1 (注2)	公式記録員	審判員が記録に関わるルールに不適合な処置をしたとき、公式記録員は副審に助言することができる。	
9	R12 3 1 (2)	要約	試合時間には、降雨による中断時間も含める。	
10	R12 3 1 (2)	要約	抗議による中断時間は試合時間に含めない。	
11	2 (2)	ボックス記録	打数に加算されないものは、犠牲打・四球・死球・妨害出塁である。	
12	2 (2)	ボックス記録	打撃妨害と野手選択による出塁は、打数にいれない。	
13	3 (1)	安打	野手に触れていないフェアの打球が、離塁中の走者に当たりアウトを宣告された。このような場合はすべて打者に安打を記録する。	
14	3 (1)	安打	一塁走者が次打者の打球を処理しようとする野手と接触し、守備妨害でアウトになった。接触しなくても一塁に出塁できた打球と判断したので、打者には安打を与えた。	
15	3 (2)	安打	先行走者をアウトに失敗し、一塁に生きた打者走者をアウトにできたときと判断したときは、野手選択を記録する。	
16	4 (1) a	安打	走者二塁、中前安打で生還。本塁への送球間に打者が二塁に達したので二塁打を記録した。	
17	4 (1) b	塁打数の決定	長打を打った打者走者が、三塁をオーバースライドしたためにタッチアウトとなった。一度はベースに触れているので三塁打を記録する。	
18	4 (1) b	塁打数の決定	右中間への長打を放った打者走者は三塁をオーバーランしたとき、右翼手からの好送球でタッチアウトとなった。打者には三塁打を記録する。	
19	5 (1)	犠牲打	無死一塁。送りバントを一塁に送球したが、ベースカバーの二塁手が落球したため打者走者は一塁に生きた。失策だけを記録する。	
20	5 (1)	犠牲打	無死一塁。送りバントを二塁に送球したが、悪送球となりオールセーフとなった。犠牲打を記録する。	
21	5 (2)	犠牲打	中堅手へ大飛球で二塁走者が三塁へ進塁。打者には犠打が記録される。	
22	5 (2)	犠牲打	無死三塁。左中間への大飛球に追いついた左翼手は、捕球体制に入ったが落球し、三塁走者が生還した。左翼手には失策、打者には犠打と打点を記録した。	
23	6 (1)	打点	打球を処理した野手の選択守備により得点したときは、打者に打点を与える。	
24	6 (1)	打点	満塁で打撃妨害により押し出しで得点したときは、打者に打点を与える。	
25	6 (1)	打点	満塁で死球により押し出しで得点したときは、打者に打点を与える。	
26	6 (2)	打点	ショートゴロ。6 - 4 - 3の併殺打を打った打者にも、打点が与えられる。	
27	10 (2)	盗塁	ダブルスチールを企てたが、その内の1人がアウトとなった。もう一人の走者には盗塁を記録する。	
28	10 (2)	盗塁	無死一・三塁。ダブルスチールを企てた一塁走者は成功。しかし三塁走者は明らかにサインプレイを思われる二塁手からの送球で本塁寸前タッチアウト。盗塁は一塁走者だけ記録する。	
29	10 (3)	離塁アウト	離塁アウトが宣告された時の投球は、ノーピッチとして投球数にいれない。	

公式記録員 ルール問題（初級編）

H22(2010)年版

NO.	スコアリングマニュアル/ルールブック等	項目	問 題	解答
30	12 (1)	刺殺	二塁での離塁アウトは、そのとき最も近い野手に刺殺を記録する。	
31	12 (2)	刺殺	打者が三振したときは、捕手に刺殺を与える。	
32	13 (1) (注)	補殺	三本間でランダウンプレイが起こった。1人の野手が何回送球を扱っても、ただ1つのアシストしか記録されない。	
33	13 (1)	補殺	遊撃ゴロを一塁に好送球したが、一塁手が落球したために打者セーフとなった。遊撃手には補殺を与える。	
34	13 (1)	補殺	投手がはじいたゴロを、二塁手がひろい一塁でアウトにすれば、二塁手だけに補殺を与える	
35	13 (2)	補殺	投手の合法的な投球の時、三塁走者がホームスチールを試みてアウトになった。投手に補殺、捕手に刺殺を記録する。	
36	13 (2)	補殺	打者が三振したときは、投手に補殺を与える。	
37	13 (1)	補殺	一塁ゴロを一塁手がとって、ベースを踏んでアウトにしたので、一塁手に補殺と刺殺を与えた。	
38	14 (1)	失策	容易なファールフライを落球した野手には、失策が記録される。	
39	14 (1)	失策	二塁手が走者の走塁を妨害した場合には、二塁手に失策が記録される。	
40	14 (2)	失策	20秒ルール違反によるペナルティで、打者に1ボールを与えた投手には失策を与える。	
41	14 (2)	失策	二塁への盗塁を刺そうとした捕手の送球がそれ、外野に抜けたので走者は二塁に生きた。捕手に失策を記録する。	
42	14 (2)	失策	投手の暴投(W.P)、捕手の捕逸(P.B)は失策を記録する。	
43	18 (3) a	自責点	失策で出塁した走者が得点しても自責点は記録されない。これは投手の失策による出塁にもあてはまる。	
44	18 (3) b	自責点	タイプレーカーでの二塁走者は打数には含めないが、その走者が本塁を踏んだ得点は自責点である。	
45	19 (1)	勝利投手	先発投手は、5回以上投げなければ勝利投手の権利が与えられない。	
46	19 (1)	勝利投手	先発投手の時に同点にされ、救援投手ができれば、先発投手の勝利投手の権利は消える。	
47	21 (1)	無通告	F P が無通告でD P に代わり打席に入り打撃を行った。	
48	21 (2)	再出場	先発で4番の打順にいた選手は、再出場で何番の打順に入ってもよい。	
49	21 (3)	指名選手	F P のK選手は4回表、D P の代打として打撃を行なった。この交代は認められる。	
50	21 (3)	指名選手	5番D P のF選手が、7番ライトM選手の守備を兼務し、Mは打撃のみを継続する打撃専門選手(O P O)となる交代は可能である。	
51	21 (3)	指名選手	打撃不調のD P が守備専門のF P と交代し、F P が打撃専門のD P となった。	
52	21 (3)	指名選手	D P がF P の守備を兼ねるときは9人で試合を継続し、F P 以外の守備を兼務するときは10人のままである。	
53	24 (1)	コールドゲーム	正式試合は、必ず7回まで終了していなければならない。	
54	必携	服装	夏の服装は、白のシャツ、グレーのズボン(スカート)、白グツを着用する。	
55	必携	服装	帽子とネクタイは、記録委員会が定めたものを着用する。	
56	必携	心得	試合後の集計は正確さが大切なので、時間がかかっても良い。	
57	必携	心得	記録中は雑談・喫煙を慎み、言動に注意し、品位を保つこと。	